

# 未来への遺産

VOL.57

## 発見された 一、〇〇〇年前の硯すずり



円面硯。平安時代1000年前。御代田町前田遺跡出土。御代田町指定文化財。

書初めの季節となったが、墨で文字を書く風習が一般的となったのは、奈良・平安時代にさかのぼる。

現在の硯は、四角い盤上だが、1000年前の硯は、円形で脚がつく「円面硯」であった。

御代田でも平安時代の貴重な硯がみついている。その硯は、昭和60年、小田井の西にある前田遺跡の住居跡から発掘された。それは石でできたものではなく、須恵器すえきと呼ばれる窯で焼いた硬質の焼き物であった。円の中心の平坦な部分で墨をすり、ややへこんだ円周部分に墨がたまるようになっていて、よくみるとそのてっぺんに、当時の墨のあとがわずかに残っている。

本来、墨や筆がセットであったはずだが、みつかったのは硯だけであった。1000年という時が、それらを消し去り硬質な焼き物である硯だけが残ったのであろう。硯は、庶民のだれもが持っていたわけではなく、ムラの役人などが持っていた特別な文房具と考えられる。



硯の出土した前田遺跡

### 企画展 佐久の古代展 “古代の音・色”

■1月20日(土)~1月28日(日) ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室 入場無料

御代田町の人口(12月1日現在)

●人口 14,196人(先月比+16) 男 7,120人女 7,076人  
●世帯数 5,454世帯(先月比+5) ●外国人登録者数 794人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111